

坑夫側作戦

初め坑夫側はその何人が主謀者かやを以て、
 為殊更に代表者をあげず漠然たる暴動的集團とし
 て会社側に臨み、^{（始末）} 歎願書の如き付家長^{（下）}を通過して
 提出せし会社側は^{（始末）} 警察を向し、^{（依）} 手に^{（依）} 争議を解
 決せんと焦慮せしも警察側は何人か首謀^{（依）}の^{（依）} 行
 るやを見極め、^{（依）} 中には漫然手を下さば意外の失態
 を起さんことを憂之に應じ、^{（依）} 其様を窺えり、さう
 居に坑夫側は社長自ら^{（依）} 争議団本部に奉りて招来
 して説明を求め、その機会を以て労働組合を在